1月号 全家研 月刊ポピー 国語 一口ポイント 東書版

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

📖の数字は，教科書のページ数です。

1年 子どもを まもる どうぶつたち 📖101～111

●オオアリクイとコチドリの特徴と子どもの守り方について書かれた**説明文**です。

●二つを比較して、違いを表にまとめます。

1　どんな動物か

オオアリクイ	コチドリ
ながいしたをつかって、アリやシロアリをとるどうぶつ。…	小さなわたりどり。なつに日本にやってきて、……

2　子どもの守り方

・どんなことをするのか。

・なんのためにそうするのか。

2年 かさこじぞう 📖79～94

●地蔵様に笠をかぶせてあげた、じいさま夫婦の**物語**です。

●各場面ごとに、じいさまやばあさまの様子や気持ちを読み取ります。

・貧しい暮らしのじいさま夫婦。

・笠を売りに行くじいさま。

・吹雪の中の六人の地蔵様に、笠と手ぬぐいをかぶせるじいさま。

・じいさまを優しく迎えるばあさま。

・お礼にくる地蔵様。

3年 人をつつむ形――世界の家めぐり 📖89～100

●世界のいろいろな家のつくりについて書かれた**説明文**です。

●書いてあることを整理して読み、日本の家について考えます。

モンゴル

・移動できる組み立て式の家。

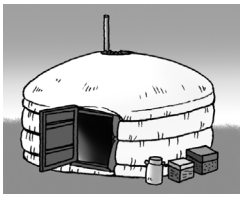
・放牧で暮らすため、水が手に入り、草が生えている所に建てられる。

チュニジア

・地面に穴を掘って中庭にし、そこから横に穴を掘って家族の部屋をつくる。

セネガル

・村の中心にある屋根がさかさまの家。



4年 数え方を生みだそう 📖85～96

●日本語のものの数え方について書かれた**説明文**です。

●筆者の意見を読み取り、自分の考えを深めます。

【日本語の数え方】

数だけでなく、後ろに「本」「枚」などの言葉を付けて、どんな物であるかを相手に伝える。

【アメリカで日本語を学ぶ小学生たち】

一人一人が新しい数え方を生み出した。

←

・日本語の正しい数え方を身につけることは大切だが、言葉の柔軟さに目を向けることも大切。

・あなたも新しい数え方を考えてみよう。

5年 「弱いロボット」だからできること 📖214～225

●テクノロジーが進歩する中で大切なことは何か。テクノロジーと人間の共存について書かれた**説明文**を読んで、自分の考えをまとめます。

テクノロジーが進歩すると

・便利で高い性能を持つものほどよい。

←

・ますます多くの機能や便利さを求める。

←

・してもらって当然だという気持ちになる。

「弱いロボット」

・高い性能や多くの機能を持たず、人の助けを必要とする。

←

・ロボットと人が互いに支え合う関係を持つ。

6年 プロフェッショナルたち 📖210～225

●三人のプロフェッショナルたちの生き方から、自分の**将来の夢**や**生き方**について考えます。

【勝俣悦子】

・水族館に勤める海獣医師。

・「動物にとって何が大事か」ということをゆるがない根っことして常に持つ。

【国村次郎】

・新幹線の「顔」を作り続ける板金職人。

・向き合うのは自分の技量。「技は裏切らない」。

【杉野英実】

・「人を幸せにする菓子」づくりを目指すパティシエ。

・プロフェッショナルとは、自分の職業をひたすら極めていく人。